

本文題目

「カワイイ」の社会的呪縛力
—プリクラの事例から—

【要旨】

本論文は「カワイイ」が私達若い世代、とりわけ若い女性を呪っているという仮説をたてたうえで、現役女子高校生や女子大生にインタビューを実施し、その実態をさぐっていく。今回「カワイイ」の呪いの事例として扱うのはプリクラである。それは、私自身に取りつかれたかのようにプリクラにはまっていた経験があったからだ。自分の実体験を思い出し、出していくことから始め、そして、その後それぞれのインタビューの経験とも比較しながら、プリクラのプラス面、マイナス面についても考察した。

第1章の第1節では、まず「カワイイ」の語源を調べ、日本においてどのようなもの「カワイイ」とされていったのかを理解し、さらに、外国語との比較を行っている。第2節では日本だけではなく世界中で見受けられる「カワイイ」現象について紹介している。第3節では本論文でなぜプリクラを扱うかについて説明をした。第4節では、本論文を書くにあたり参考にした、これまでに行われた「カワイイ」研究、プリクラについての研究を紹介している。

第2章では私自身のプリクラ体験を書き綴った。初めてプリクラを撮ったことから、現在の状況まで出来るだけ詳しく書くようにした。また、この記述をもとに、私が虜になっていたプリクラから抜け出した要因は何であったのか考察している。

第3章では現役女子高校生6人にインタビューを行った。まずは彼女達の「カワイイ」意識について、そしてその後は彼女達のプリクラ事情について聞いている。予想通り、現役女子高生は「カワイイ」意識が高く、「カワイイ」の呪いにかかっているように見えた。2節では、私が高校生の時とどのように違うのか簡単に比較をした。

第4章では現役女子大生4人にインタビューを行った。女子高校生へのインタビューよりも、より深く質問をしている。このインタビューを通じて、私以外の女子大生が私と同じようにプリクラにはまった経験があるのかを聞くに加え、女子大生の「カワイイ」意識についても探っている。インタビューの1人目は「カワイイ」の呪いから抜け出しているYさん、2人目はYさんのように「カワイイ」から抜け出し、「チャーミング」な女性を目指すMさん、3人目は先の2人とは違って今でも「カワイイ」を求めているTさん。インタビューの対象者の4人中3人は九州大学の文学部と同じ学部であったため、最後の相手として久留米大学のOさんにインタビューを依頼した。

第5章は私の体験記と、インタビューの結果をもとに、プリクラがもつプラス面（交換

性—顕示性—アイデンティティ) とマイナス面 (短期性—排除性—隠蔽性) について言及している。

第6章では「カワイイ」の呪いを3つ (「かわいい」—「カワイイ」—「kawaii」) に分けて考察し、本論文をまとめた。

最後に、本論文を執筆するにあたってお世話になった方々に感謝の意を述べて本論文を結んだ。

目次

はじめに	3
第1章 「カワイイ」現象とその研究	4
第1節 単語としての「カワイイ」	4
第2節 「カワイイ」現象	8
第3節 本論文でプリクラを扱う理由	10
第4節 先行研究の紹介	12
第2章 プリクラ	14
第1節 私のプリクラ体験記	14
第2節 プリクラから抜け出す過程	18
第3章 女子高校生インタビューの巻	20
第1節 私立S高校生6人	20
第2節 現役女子高生から見たこと	26
第4章 女子大生インタビューの巻	
第1節 「カワイイ」から脱出成功…Yさん	27
第2節 「カワイイ」よりもチャーミング…Mさん	34
第3節 絶賛「カワイイ」感染中…Tさん	41
第4節 「カワイイ」且つ、「面白い」…Oさん	48
第5章 プリクラの正体	55
第1節 抜け出す過程	55
第2節 プラス面	57
第3節 マイナス面	58
第6章 「カワイイ」の呪い	59
第1節 「かわいい」—「カワイイ」—「kawaii」	59
おわりに	62
参考文献	63